

# 日誌

日誌 02月17日                      東邦大学                      学籍番号( 1021236                      )                      氏名( 湯口   万里奈                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.5℃ 体調良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	自己紹介
	10:00	服薬指導
		調剤・監査
	11:00	服薬指導
		調剤・監査
	12:00	昼休み
		昼休み
	13:00	薬を調べる
		在宅事前準備
	14:00	在宅
		在宅
	15:00	在宅報告書作り
16:00	検査血を調べた	
17:00	1日の振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月17日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

【実習目標】薬局での業務を知る。

【実習内容、理解できたこと、学んだこと】

午前中は高血圧の患者さんに服薬指導をした。ちょっとした患者さんの言葉から、潜在的な問題を見つけ出し、どうしたら解決できるかをSOAPにして考えた。

午後は在宅医療の体験をした。

在宅では、循環器疾患と血清カリウム値に問題を抱える患者さんを訪問した。訪問前に患者さんの薬を調べ、患者さんにわかりやすい言葉で服薬指導する方法を、指導薬剤師の方と考えた。

訪問した際には、患者さんに挨拶し、服薬カレンダーに薬を入れる手伝いをした。家の中の様子や、指導薬剤師の方とのやりとりを見て、その人がどのような人物か(家族構成や性格、趣味、好きな食べ物など)考えた。

血清カリウムを下げるためのゼリー剤の服薬率が下がっている患者さんだったので、実際にゼリー剤を食べている様子を見て、なぜ薬を飲まないのか考えた。ゼリー剤の蓋を開けづらそうにしていたので、どうやったら飲めるようになるか、別の剤形の薬がないかなどを調べ、次回の訪問時に指導薬剤師の方と話し合うことになった。また、食事についてどのようなアドバイスができるかも考えていくことにした。

在宅のおおまかな流れをなんとなく理解することができた。

# 日誌

日誌 02月17日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月17日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	初めての服薬指導で、患者さんの薬歴などを確認していなかった。また、スムーズな会話ができなかったうえに十分な情報提供も出来ていなかった。会話のスピード感がOSCEと全然違ったので、患者さんのテンポで話すってとても難しいなと思った。 在宅訪問時には患者さんとのコミュニケーションがあまり取れなかった。ただ立っ て見ているだけのことが多かったので、患者さんが抱える不安や悩みを十分引き出せるようなコミュニケーションができるよう、この11週間で少しずつ練習していきたい。また、自分はケアマネジャーの役割や他職種との連携について深く理解できていないと感じた。 また、高齢の患者さんが多い印象を受けたが、患者さんに無理のない範囲で情報を提供するの は難しいと思った。
添付資料	実務実習事前学習ルーブリック.pdf 体調確認表(2025).xlsx
薬剤師のコメント	初日から良いペースですね。 最初からガンガンコミュニケーション取れる方がちょっと特殊かも。(笑) なので、書いてくれたように『練習』していきましょうね。  そして良い振り返りをしてくれていますね。 >患者さんのテンポで話すってとても難しいな これって、実はとても大切なことなのかもしれません。せっかくなので、『テンポ』とコミュニケーションについて明日一緒に考えてみましょうか。  >血清カリウムを下げるためのゼリー剤 →一般名で書いてみると薬剤師っぽいかな。  小川 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 02月18日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.2℃ 体調良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	一包化
		監査
	10:00	薬薬連携
	11:00	薬薬連携
		服薬指導
	12:00	化学療法の頓服
	13:00	ひるやすみ
	14:00	SOAP
		調剤
	15:00	SOAP
		DOACについて考えた
16:00	SOAP	
17:00	1日の振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 02月18日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>&lt;実習目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・薬歴を読めるようになる</li></ul> <p>&lt;実習内容・理解できたこと、学んだこと、薬物治療に関する考察&gt;</p> <p>午前中は、薬の一包化をした。基本的な機械の操作と、機械の仕組みについておおまかに理解した。</p> <p>作った後は監査をして、異物の混入や薬に破損がないか、薬は全て正確に入っているか調べた。</p> <p>よもぎ薬局では、近くの病院と協力しながら薬局側から一包化できるような提案をしたりしていたので、薬局でも治療を計画する側に立って患者さんに貢献できることを学んだ。</p> <p>実習中に、地域医療における薬薬連携の不足が患者の慢性的な便秘症の解決に影響を与えているという問題に直面した。検査値の不明確さや複雑な薬歴の管理が課題となり、この問題を解決するために地域薬局として果たすべき役割を考えた。</p> <p>服薬指導では、ロキソニンを飲んで消化器潰瘍になってしまった患者さんを担当させてもらった。</p> <p>患者さんの言葉からSOAPを作成し、次患者さんにお会いしたときにはどのようなコミュニケーションをとって服薬指導を行うか、先生の助言をもらいながら考えた。</p> <p>今日は近くの病院がお休みだったので、一つの症例から深く学ぼうと思ってがんばった。</p>
----------	--

# 日誌

日誌 02月18日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月18日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

<p>実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)</p>	<p>薬を一包化するとき、フィルムから薬を出すのが大変で指から血が出てしまった。幸い患者さんの薬に血がついたりはしなかったが、経験を積んで要領を掴んでいきたい。</p> <p>服薬指導が苦手で、今回の服薬指導で患者さんの前でも苦手意識が出てしまったと思う。 まず会話がキャッチボールになっていないので、スムーズなコミュニケーションを心がけたい。</p> <p>また、薬を減らすことができた患者さんに対して、良かったですねと共感を示すことができなかった。 薬歴を頭に入れて会話するのが難しい。処方箋や薬歴はあくまで情報で、そこから患者さんの治療や生活を想像するのはとても難しいと思った。今回でている薬を説明しようと思うあまり、患者さんが気にしていた話を聞いたりする余裕がなかった。今度は、患者さんが今1番気にしている薬は何か、意識して服薬指導を行っていきたい。</p>
<p>添付資料</p>	
<p>薬剤師のコメント</p>	<p>いや～まだ2日目ですよ。(笑) かなり濃い目の実習となっているのでは？</p> <p>&gt;そこから患者さんの治療や生活を想像するのはとても難しいと思った。 これ！本当に大切なことです！！このタイミングでここに気づいてくれていることが本当うれしいです！ 患者さんとのキョリを縮める方法にまさに『共感』がありますよね。 とても難しいと感じるかもしれませんが、大丈夫。きっとできるようになります！</p> <p>あ、『関わった疾患』『服薬指導を実施した疾患』は重複している疾患も数えみてくださいね。今回リバーロキサバンなども服用している方でしたいや～まだ2日目ですよ。(笑) かなり濃い目の実習となっているのでは？</p> <p>&gt;そこから患者さんの治療や生活を想像するのはとても難しいと思った。 これ！本当に大切なことです！！このタイミングでここに気づいてくれていることが本当うれしいです！ 患者さんとのキョリを縮める方法にまさに『共感』がありますよね。 とても難しいと感じるかもしれませんが、大丈夫。きっとできるようになります！</p> <p>あ、『関わった疾患』『服薬指導を実施した疾患』は重複している疾患も数えみてくださいね。今回リバーロキサバンなども服用している方でしたね♪ 登録者：小川 智弘</p>
<p>添付資料(薬剤師)</p>	



# 日誌

日誌 02月19日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.4℃ 腹痛	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	病院の先生に挨拶
		納品
	10:00	処方箋預かる
		疑義紹介
	11:00	一包化
		納品
	12:00	納品
		ひるやすみ
	13:00	ひるやすみ
		調剤
	14:00	服薬指導
	15:00	一包化
	16:00	調剤
17:00	調剤	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 02月19日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>&lt;実習の目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・患者さんと話す</li></ul> <p>&lt;実習内容・理解できたこと、学んだこと・薬物治療に関する考察&gt;</p> <p>病院の先生や看護スタッフの方にご挨拶をした。 午前中は新規患者さんへの対応を経験し、情報収集の仕方や、コミュニケーションの取り方を学んだ。</p> <p>電話での処方箋に関する問い合わせの流れを学び、処方箋から問題点を見つけるために必要なことを学んだ。 また、電話では必ずしも処方医と直接話せないことも多いので、医師やスタッフに伝えるべきポイントを整理し、必要な情報を伝えるためにはどうしたら良いか考えた。</p> <p>卸業者からの納品業務では、名前と数を確認し、薬品を棚に整理した。 在庫管理をしやすいするためには、期限やラベルが見やすく整理する必要があると思ったので、効率的に薬品を管理するためにはどうしたら良いか考え、他の実習生とも話し合った。</p> <p>服薬指導では糖尿病患者さんへの指導を行なった。メトホルミンを飲まなくなって2ヶ月ほどの患者さんだったので、血液検査の結果や患者さんからのお話をもとにSOAP評価を行った。指導薬剤師の方と一緒に、メトホルミンの特徴や作用機序を考え、次の服薬指導にどう繋げるか考えた。さらに、患者さんとの会話で、風邪をひいた際に使用できる薬がドラッグストアではなかなか見つけれなくて困っていることがわかった。その後も薬局の公式LINEを通して、薬を調べて適切な薬を提案することになった。セルフメディケーションに繋げることで患者さんのQOLを上げることができるので、このようなコミュニケーションは今後も続けていきたい。</p> <p>調剤業務では、薬を迅速かつ正確に提供するために、事前に60日分まとめたり、日数に応じて輪ゴムで色分けをするなど、業務をより安全に効率化する手段を学んだ。</p>
----------	--

# 日誌

日誌 02月19日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	○
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	○
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月19日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

<p>実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)</p>	<p>服薬指導において、自分にもう少し検査値の知識があれば、患者さんに対してより良いアセスメントができたと感じた。 また、メトホルミンについての理解が深まれば、患者さんの検査との関連をより明確にし、薬歴を見ながら現状を評価できたと思う。</p> <p>在庫管理についても、まだ他の薬剤師さんが薬が届いたかどうかわからなくなる可能性があり、作業を行う際には連携が重要であると感じた。普段から薬剤師さんが話している薬については特に意識を持ち、自分から情報を共有できるようにしたい。</p> <p>一包化の作業については、薬をプチプチする速度がまだ遅く、作業効率を上げるためには練習が必要だと感じた。</p>
<p>添付資料</p>	
<p>薬剤師のコメント</p>	<p>今日は本当に優しい患者さんでしたね。 きっと、湯口さんからのお返事を待っているので一緒に頑張りましょうね！</p> <p>さらに、この『アセスメント』とても大切です！ちょっとテンション上がって話しすぎましたが、、、色々考えてみて練習してみましようね。</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
<p>添付資料(薬剤師)</p>	

# 日誌

日誌 02月20日                      東邦大学                      学籍番号( 1021236                      )                      氏名( 湯口   万里奈                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 35.9℃ 体調良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患    (0)名、免疫・アレルギー疾患    (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患    (0)名、免疫・アレルギー疾患    (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月20日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

# 日誌

日誌 02月20日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月20日                      東邦大学                      学籍番号( 1021236                      )                      氏名( 湯口   万里奈                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 02月21日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 35.9℃ 体調良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	小児在宅の調剤
	10:00	トレーシングレポートの書き方
	11:00	小児在宅の調剤
		錠剤の粉碎
	12:00	昼休み
	13:00	小児在宅の調剤
		散剤
	14:00	小児在宅の調剤
		散剤
	15:00	小児在宅の調剤
		散剤
16:00	小児在宅の調剤	
	散剤、後片付け	
17:00	1日の振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月21日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

### <実習目標>

- ・棚の薬をある程度覚える
- ・剤形の違いを理解する

### <実習背景・理解できたこと、学んだこと・薬物治療に関する考察>

小児在宅の患者さんの調剤をした。午前中は必要な薬を揃える作業だけで終わってしまった。

経管投与する薬なので、ご家族の負担なども考慮し、一包化できるものは一包化してまとめたり、簡易懸濁しやすいよう剤形が適切かどうか考えた。マグミットは錠剤の方が懸濁しやすいが、ラメルテオンは粉碎して散剤にしたり、モサプリドにはヒビを入れたりした。

指導薬剤師の方が、患者さんのために様々な試行錯誤を重ねて現状の方法に辿り着いたことを知り、改めてその姿勢に感銘を受けた。薬を使いやすくするためのアイデアはすでに多くの工夫がなされていると思うが、私も今後は常にその視点を持ちながら、少しでも改善できる点がないか、色んな患者さんで考え続けたいと思った。

粉薬と錠剤の違い、OD錠の役割について、正直なところそこまで大きな違いを感じていなかった。しかし、懸濁できるようになることで、経管投与の患者さんにも薬を届けることができるという点に気づき、大きな影響があることを実感した。懸濁や一包化などの工夫によって、薬の投与がスムーズに行え、患者さんやそのご家族にとって負担が軽減することは、薬剤師として非常に重要な役割だと思う。今後も、剤形の選択や調整によって、どれだけ患者さんにとって有益な方法が提案できるかを考えていきたいと感じた。

# 日誌

日誌 02月21日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月21日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	原薬量を計算するのに時間がかかった。  これほど多くの薬を調製するのはとても大変で集中力の維持が難しかった。 今回は指導薬剤師の方や実習生同士で確認できたが、異物が混入したり薬を間違 ったりしたら大変なので、緊張感を持って調剤したい。
添付資料	
薬剤師のコメント	>私も今後は常にその視点を持ちながら、少しでも改善できる点がないか、色ん な患者さんで考え続けたいと思った。 素晴らしい！！ちょっとうれしくて涙出そう！（笑）  湯口さんはとても良い能力を持っていますね！ 実は、今回は1日がかかりになることが分かっていたので、わざと緊張感をほぐし ながら調剤を続けてもらいました。その中で『冷静に振り返る。』これとても難 しいことだと思います。 まさに今回調剤した内容が、細かい部分まで含めて『一人で』行えるようになる ことがある意味大切ですね。（おそらく概略評価の3に相当します。）  明日は、実習生ひとりですが最初の一週間最終日、頑張りましょうね！  智弘 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 02月22日                      東邦大学                      学籍番号( 1021236                      )                      氏名( 湯口   万里奈                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 35.8℃ 体調良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	小児在宅の調剤
		軟膏
	10:00	軟膏
		服薬指導
	11:00	服薬指導
		服薬指導
	12:00	服薬指導
		服薬指導
	13:00	昼休み
		在宅の患者さんの栄養補助剤を調べる
	14:00	服薬指導の振り返り
		服薬指導の振り返り
	15:00	監査
		在宅
	16:00	在宅の振り返り
		服薬指導見学
17:00	1日の作った。振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(1)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(1)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 02月22日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>&lt;実習目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・軟膏をきれいに混合する</li></ul> <p>&lt;実習背景・理解できたこと、学んだこと・薬物治療に関する考察&gt;</p> <p>【小児在宅の患者さんへの軟膏作り】</p> <p>指導薬剤師の方からアドバイスをいただきながら軟膏を作成し、充填した。初めてこんなに量の多い軟膏を混合したが、指導していただき、初めてにははうまく均一に混合することができた。</p> <p>【服薬指導】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主訴がざ瘡の患者さんで、1ヶ月前にゾレアの注射を受けた患者さんだった。ゾレアの副作用の可能性なども考慮しながら患者さんの症状を指導薬剤師とアセスメントした。添付文書だけでなく市販後調査なども参考にすることが必要であることがわかった。また、処方箋を見て、病院の先生がどのような意図で処方したのかを考える重要性を実感した。</li><li>・主訴が鼻血の患者さんに服薬指導をした。患者さんは「いつも使っている薬」として捉えているかもしれないが、過去に話していたことや、検査値、体重の変化などを踏まえて潜在的な疾患を見逃さないようサポートしなければならないと思った。</li></ul> <p>【在宅医療】</p> <p>午後は患者さんの薬の一包化を行い(手伝い)、実際に患者さんの家に薬を届けた。</p> <p>ここで、処方箋医薬品とそうでない医薬品があることを知った。処方箋がなくても売れる薬を届けることで、患者さんのセルフメディケーションを支援できるということを学んだ。このような知識を持つと、特に在宅医療のように柔軟に対応できる分野では、より患者さんの生活やニーズに合わせたサポートが可能になるため、もっといろいろなことを吸収して深く貢献したいと思った。</p> <p>今日伺った方は、たくさんの薬を服薬している患者さんで、カルベジロールが効きすぎて低血圧などが起きていないか確認した。同じ薬でも用量によって適応が異なる点についても指導薬剤師の方と確認した。</p>
----------	--

# 日誌

日誌 02月22日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	○
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月22日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

<p>実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)</p>	<p>服薬指導で、点鼻薬の説明を行う際、誤った情報を伝えてしまった。自分が使ったことのある剤形だからといって、油断してしまった部分があり、慎重に対応すべきだったと思う。今後は薬の説明書を患者さんと一緒に確認しながら説明を行いたい。</p> <p>服薬指導で、アセスメントが不十分な点がたくさんある。 より良い服薬指導をし、次につながるアセスメントをするためには、薬歴や前回のSOAPだけでなく今回の処方も含めて自分の中で情報を整理し、患者さんに何を聞かしくしっかり決めておかないと、患者さんから必要な情報を引き出せないことを痛感した。日々の勉強や実践を積み重ね、処方内容の理解を深めることで情報を整理して迅速に判断を下す能力を高めたい。</p>
<p>添付資料</p>	
<p>薬剤師のコメント</p>	<p>&gt;自分が使ったことのある剤形だからといって、油断してしまった部分とても良い振り返りですね。 そうですね、同じ薬でも患者さんや状況に応じて説明の仕方が変わる（変えるべき）というのが感じられたのではないのでしょうか？</p> <p>&gt;アセスメントが不十分な点がたくさん OSCEと違って、考慮すべきことがたくさんありますよね。でも、焦らずに一步步つ行きましょう！ 今週だけでもとても成長が見れてうれしいですよ♪</p> <p>智弘 登録者：小川 智弘</p>
<p>添付資料(薬剤師)</p>	



# 日誌

日誌 02月23日                      東邦大学                      学籍番号( 1021236                      )                      氏名( 湯口   万里奈                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.5℃ 体調良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月23日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

# 日誌

日誌 02月23日

東邦大学

学籍番号( 1021236 )

氏名( 湯口 万里奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月23日                      東邦大学                      学籍番号( 1021236                      )                      氏名( 湯口   万里奈                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	